

令和2年度  
親子ふれあいデー活動  
(まとめ報告書)



熊本県PTA連合会

## 令和2年度 親子ふれあいデー活動

### 目次

☆令和2年度親子ふれあいデー活動委嘱校

☆令和2年度委嘱校活動報告

1. 南関町立南関第二小学校PTA	.....	1
2. 山鹿市立三玉小学校PTA	.....	2
3. 菊池市立泗水西小学校PTA	.....	3
4. 合志市立西合志東小学校PTA	.....	次年度へ持ち越し、活動予定
5. 大津町立大津東小学校PTA	.....	4
6. 大津町立大津中学校PTA	.....	5
7. 阿蘇市立内牧小学校PTA	.....	次年度へ持ち越し、活動予定
8. 山都町立清和小学校PTA	.....	6
9. 嘉島町立嘉島西小学校PTA	.....	7
10. 宇土市立走潟小学校PTA	.....	8
11. 美里町立砥用小学校PTA	.....	9
12. 宇城市立当尾小学校PTA	.....	次年度へ持ち越し、活動予定
13. 宇城市立小川中学校PTA	.....	10
14. 上天草市立姫戸小学校PTA	.....	11
15. 八代市立千丁小学校PTA	.....	12
16. 水俣市立久木野小学校PTA	.....	13
17. 水俣市立水俣第一小学校育友会	.....	14
18. 芦北町立湯浦中学校PTA	.....	15
19. あさぎり町立深田小学校PTA	.....	16

※上記3校（4、7、12）は、コロナ禍により今年度の活動ができなかったため、次年度に活動実施予定である。

## 令和2年度親子ふれあいデー活動委嘱校

	ブロック	エリア	単位PTA名
1	県北	玉名郡	南関町立南関第二小学校PTA
2		山鹿市	山鹿市立三玉小学校PTA
3		菊池市	菊池市立泗水西小学校PTA
4		合志市	合志市立西合志東小学校PTA (次年度へ持ち越し、活動予定)
5		菊池郡	大津町立大津東小学校PTA
6		菊池郡	大津町立大津中学校PTA
7		阿蘇郡市	阿蘇市立内牧小学校PTA (次年度へ持ち越し、活動予定)
8		上益城郡	山都町立清和小学校PTA
9		上益城郡	嘉島町立嘉島西小学校PTA
10		県南	宇土市
11	宇城市・ 下益城郡		美里町立砥用小学校PTA
12	宇城市・ 下益城郡		宇城市立当尾小学校PTA (次年度へ持ち越し、活動予定)
13	宇城市・ 下益城郡		宇城市立小川中学校PTA
14	上天草市		上天草市立姫戸小学校PTA
15	八代郡市		八代市立千丁小学校PTA
16	水俣市		水俣市立久木野小学校PTA
17	水俣市		水俣市立水俣第一小学校育友会
18	葦北郡		芦北町立湯浦中学校PTA
19	球磨郡		あさぎり町立深田小学校PTA

# 親子ふれあいデー活動報告

令和2年度

単位PTA名 ( 南関町立南関第二小学校 )	児童生徒数 ( 86 ) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 20000円 単P 5396円 その他	(支出) 秋祭り 25396円 ・材料代 (つり 空気砲 スライムなど)
2. 活動内容・成果・反省	
◎ 活動内容 例年「もちつき大会」を実施していました。しかし今年度はコロナ感染拡大防止のため、もちつき大会のかわりに、少しでも子どもたちに楽しい時間を過ごしてほしいという思いから、『二小PTA秋祭り』を企画しました。金魚すくい、保護者の手作りによる空気砲やおかしつり、そしてスライムづくりを行いました。平日での開催でしたが、親も子どもも楽しいひとときを過ごすことができました。	
○ 実施日 10月13日(火) 15:30～16:20 体育館にて実施 1 開会・・・PTA会長 2 注意事項・・・PTA役員 3 活動・・・縦割り班ごとに行動 4 閉会及び片付け・PTA役員	
◎ 成果 ○ PTA役員以外にも、保護者によるボランティアの皆様にお手伝いいただいたおかげでスムーズに進行し、子どもたちは活動に集中し、楽しむことができました。 ○ 活動毎に分担し、進行したため、子どもたちがより楽しめるような工夫や声かけをしていただいたため、大変盛り上がり、大人も子どももみんなが楽しめました。	
◎ 反省 ○ 急ぎよ実施することになり、短時間での開催だったため、もっと時間に余裕をもたせる必要があります。 ○ 一部の保護者に準備をお願いしたため、負担が大きかったと思います。今後活動を継続していくのであれば、役割分担を明確にする必要があります。	
3. 今後の取り組みについて	
○ 来年度も、新型コロナウイルス感染予防が必要であることを考慮し、今後も秋祭りを実施するのか、他の活動にするのかを検討する。	
4. 要望・その他	
○ 本年度、親子ふれあいデー活動の助成を受けることができ、大変感謝しております。今後も親子ふれあいデー活動を継続、充実させるためにも、さまざまなご支援、ご協力をいただければありがたいと思っております。	

# 親子ふれあいデー活動報告書

令和2年度

単位PTA名 ( 山鹿市立三玉小学校 )		児童生徒数 ( 193 ) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入)	県P 20,000円 単P その他	(支出)	愛校作業ペンキ代 10,000円 土・培養土・肥料 10,000円
		合 計	20,000円
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容			
(1) 親子愛校 8月29日(土)早朝より、全校児童とPTAによる親子作業を行った。学級園畑、運動場の草取り、遊具のペンキ塗り、窓ふきを分担して行った。			
(2) 花の種まき、花苗植え 6月と11月に花の苗を植え、花いっぱい为学校にした。今年は、区長会OBの方々に御指導いただき、花の種から育てることにした。パンジー、キンセンカ、キンギョソウ、ナデシコ、サクラソウ、ノースポールは、種から育てて苗にして、学校ばかりでなく公民館や分館に配付した。			
(3) 親子で家庭学習チャレンジ週間 11月の学力充実月間に、家庭学習チャレンジ週間「親子家庭学習がんばりカード」の取り組みを行った。児童が、毎日の家庭学習の様子を自己評価し、そこに保護者がコメントを書き込む簡単なカードを作成し、全行を上げて家庭学習の充実と学力向上に取り組んだ。			
◎成果			
○愛校作業に取り組み、学校のことを大切にしたり、きれいに整理整頓したりする児童が増えてきている。			
○花の種から育てて、花を植えたので、水掛や草取りなどを朝から行い、大切に育てようとする児童が増えてきている。朝ボランティアも活発になってきている。			
○親子家庭学習チャレンジ週間を行い、家庭学習を頑張る児童が増えてきている。始める時間と終わる時間、決まった場所で、テレビを消して、集中して、明日の準備、と少ない項目を徹底したことで、習慣化につながりつつある。			
◎反省			
○コロナ流行の中で、十分な活動はできなかったものの、親子で力を合わせて行う活動を工夫して行うことができた。どの活動も継続してこそ、ふれあいのよさが実感できるので、今後も継続していきたい。			
3. 今後の取り組みについて			
来年度以降も、学校と地域と連携を図りながら、より充実した取り組みを展開していきたい。			
4. 要望・その他			
このような助成金事業に大変感謝しています。親子が触れ合うPTA活動の有効性は高いので、助成金を有効に使わせていただきました。これからもこの事業が継続され親子のふれあいが充実することを願っています。			

# 親子ふれあいデー活動報告書

令和2年度

単位PTA名 ( 菊池市立泗水西小学校PTA )		児童生徒数 ( 73 ) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入) 県P	20,000円	(支出)	20,000円
		○内訳: 講師謝礼	800円
		材料購入費	19,200円
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容			
○令和2年度田島っ子収穫祭: 12月20日(日)			
6月に地域の方と一緒に田植えをする。そこで、育てたもち米を使って、地域や保護者の方と一緒に全校児童が「もちつき」を実施する。ついた餅は、地域や保護者の方へ配布するだけでなく、これまでお世話になったボランティアの方々へのプレゼントとする。			
また、地域の敬老会の方々の指導の下、「しめ縄づくり」を高学年が実施する。米作りの際にできた藁を使い、しめ縄をつくることを通して、物を最後まで大切に使うという日本人の気概についても体験を通して学ばせていく。			
さらに、PTA役員を中心に、正月を迎える門松づくりを実施する。地域・学校・保護者が連携し、終日、日収穫した喜びを味わうだけでなく、正月に向けた準備を通して伝統的文化の大切さについて学ばせる機会とする。			
◎成果			
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「もちつき」を止め「ミニ門松づくり」に変更し、菊池少年自然の家の方に来校していただき、保護者の方と一緒に作成する予定であった。残念ながら、12月に入り県内のリスクレベルが5になったことで、急遽すべての活動を中止せざるを得なくなった。			
しかし、材料の方は発注していたので、菊池少年自然の家から持ってきていただき本校職員の指導の下で実施した。親子のふれあいはできなかったが、完成した「ミニ門松」を一人一人が家に持ち帰ったことで、作った時の様子や正月に向けての準備など、親子の会話材料となった。			
◎反省			
新型コロナウイルスを心配しながらの準備となった。当初、12月頃は落ち着いているだろうと考え準備を進めていたが、結果として予定通り実施できなかったことがとても残念であった。PTA役員の方が直前まで実施の方向で準備をされていただけに申し訳なく思っている。			
また、菊池少年自然の家の方にも、講師として来ていただく予定であったが、当日は参加できなかった。事前に職員への指導をしていただいたものの、急遽決定したことで、制作するための準備や当日の指導など、本校職員への負担が増えてしまった。			
3. 今後の取り組みについて			
○次年度は、新型コロナウイルスのこともしっかり念頭に入れ、計画をしたいと考えている。また、形を変えた親子のふれあいができるような取組を進めていくようにしたい。			
4. 要望・その他			
○今年度、親子ふれあいデーの委嘱を受けたことで、昨年度よりも充実した計画・準備をすることができました。心より感謝申し上げます。結果としては残念ですが、保護者の方々には子どもたちが作った「ミニ門松」を大変喜んでおられました。今後も、この素晴らしい取り組みが継続されることを願っております。本当にありがとうございました。			

# 親子ふれあいデー活動報告書

R2年度

単位PTA名 ( 大津東小学校 PTA )	児童生徒数 ( 45 ) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 20000 円 単P 2596 円 その他 0 円	(支出) 22596 円 モルック代 8500 円 花苗代 13096 円
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容 親子ふれあい花植え-モルック大会(3/6) 母親委員会のメンバーを中心に、子供達と一緒に学校に花植えをしました。 その後、親子それぞれにモルックをしました。	
◎成果 子供達と一緒に学校を花でいっぱいにして子供達も喜んでいました。 モルックはフナランドの下を使って行う競技です。同時に町の役場の方に少抽等 いたいた際には、子供達が学校でもまたモルックをしていく意欲がみられました。 今回の大会でも盛り上がり、継続していく競技であると思いました。	
◎反省 雨に予定はありましたが、親子ふれあいフェス、親子ふれあいフェスタもコロナウイルスの 影響で中止したため、予定の行事を行えなかった事が残念でした。楽しみにしていた 子供達や地域の方々にも申し訳ないこと思っております。	
3. 今後の取り組みについて 児童数は少ないですが、児童、PTAにして地域の方々との交流を 深める場を作るとともに、子供達の意欲を持ち取り組めるものを 親子共に行ってみたいと思います。	
4. 要望・その他 春休みをいたして、コロナウイルスの影響にて行事が思い通りに行えず報告が 遅くなり申し訳ありませんでした。毎年、活動ができておられる事嬉しいですし 支援があるおかげで感謝しております。	

# 親子ふれあいデー活動報告書

令和2年度

単位PTA名 ( 大津町立 大津中学校 )	児童生徒数 ( 419 ) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 20000円 単P 256円 その他	(支出) 20256円
2. 活動内容・成果・反省	
0	
◎成果	
<ul style="list-style-type: none"><li>・見守り活動で保護者も生徒たちの目線になれた事により危険箇所など再確認できた。</li><li>・保護者の声かけにしっかりと生徒たちが挨拶を返してくれまして活動後の反省会では日頃出来ない生徒たちとのふれあいに満足されて帰って行かれました。</li><li>・横断歩道など特に薄暗く危険なので今回LEDで光る安全ベストなど購入が出来て良かった。</li></ul>	
◎反省	
<ul style="list-style-type: none"><li>・見守り活動の内容説明や使用道具また配置図など初めて参加される方でもわかるような簡単なマニュアルがあれば取りまとめる父親部長や担当役員の負担が減ると思います。</li><li>・定員が増加したので安全ベストなど足りない分の購入を急ぎ対応したい。</li></ul>	
3. 今後の取り組みについて	
<ul style="list-style-type: none"><li>・新型コロナウイルスの影響により例年通りに行かない1年間になりましたが今後も子ども達の為に状況を見ながら臨機応変に出来る事を見つけ最善を尽くして行きたい。</li></ul>	
4. 要望・その他	
<ul style="list-style-type: none"><li>・今年度も委託させて頂きこの助成金でPTA活動の強化ができ大変ありがとうございました。来年度はふれあい読書研究の方に申し込もうと思います。</li><li>・今後もコロナの影響により出来るPTA活動もかなり制限されてくるのでコロナ対策にでも活用できるような助成金などあれば予算のない小規模校など助かられると思います。</li></ul>	



# 親子ふれあいデー活動報告書

令和2年度

単位PTA名（ 清和小学校PTA ）		児童生徒数（ 93 ）人	
1. 予算執行状況（収入・支出）			
（収入） 県P 20000円		（支出） 20000円	
単P			
その他			
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容			
<p>農業体験活動：PTA（環境保体部）及び地区農業者年金受給者協議会に協力を依頼し、児童の農業体験（稲作）を取り入れている。本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、田植え（3、4年生）、稲刈り・掛け干し（全学年）に限定して稲作体験を行った。収穫米は学校給食にも利用している。県P助成金は、用具代、脱穀・粃摺り代等に活用した。</p> <p>PTA学年活動：新型コロナウイルス感染拡大のため、全学年での実施はできなかったが、休日を利用して、学年ごとに親子でふれあう活動を取り入れた。3年生では、ミニモニュメント作りや風船パレー、4年生では、親子ドッジボール、5年生では映画鑑賞と親子スポーツ、6年生では、親子スキー体験を行った。県P助成金は、材料代や活動費に充てた。</p>			
◎成果			
<p>農業体験活動：PTAだけでなく、地域団体も参画していただいたことで、地域の子どもは地域で育てるという意識の醸成につながった。児童は稲作の大変さや難しさとともに収穫することの喜びを経験することができた。また、保護者の中にも稲作の経験がない人もいて、親子一緒に貴重な経験をすることができた。</p> <p>PTA学年活動：各学年で保護者を中心に計画から実施までを自主的に取り組むことで、PTA活動の活性化につながった。また、親子一緒に活動していく中で、親子で会話しながら作業したり、スポーツに汗を流したりすることで、親子のつながりをさらに深めることができた。</p>			
◎反省			
<p>標記の他にも本校では、親子がふれあう機会は多く設けられている。「みどり教室」（学校保健委員会）や「ふれあい給食」等、PTAが主体的に取り組む活動も多い。しかし、本年度は、「ふれあい給食」や「清和っ子ふれあいまつり」などが中止となり、活動自体を縮小せざるを得ない状況であった。特に、地域の方と触れ合う機会がなく、大変残念であった。今後もPTAがさらに主体となって様々な工夫を凝らしながら、進めていけるようにしたい。</p>			
3. 今後の取り組みについて			
<p>農業体験活動については、農業者年金受給者協議会とより連携を深め、総合的な学習の時間との関連から、どのような体験をさせていくか事前に十分検討し、児童が農業をはじめ、地域の産業や親の仕事などにふれ合う機会を設けていきたい。</p> <p>また、本年度実施できなかった親子創作活動については、公民館支館長と事前に十分協議し児童と一緒に取り組める活動プランをいくつか作成し、マンネリにならないよう工夫を凝らしていきたい。</p>			
4. 要望・その他			
<p>今回の活動補助により、本年度の活動に工夫をすることができました。次年度以降も是非助成をお願いしたいと思います。本年度も大変お世話になりました。</p>			

# 令和2年度親子ふれあいデー活動報告書

単位PTA名(嘉島西小学校)児童数(461名)

PTA会長名(金子克樹)

## 1 予算執行状況(収入・支出)

(収入)

県より委嘱金 20,000円

単位Pより 22,792円

合計 42,792円

(支出)

マグカップ工作キット代

×1学年人数分

合計 42,792円

## 2 活動内容

今年度はコロナ禍で、例年開催していた学年で集まって楽しむ「西小親子ふれあいデー」が開催できなかったため、各委員が家庭でできる親子のふれあい活動を検討し、実施した。委嘱金は、1学年の活動に使わせていただいた。

## 3 具体的活動内容【コロナ禍でも、親子で楽しむおうち時間】

1年：おやこで作ろう！「クラス集合写真入りマグカップ」製作

2年～4年：一緒に選んで、一緒に読もう！「図書カード」配布

5年：家庭でできる食育！「学習で育てたもち米&もち米レシピ集」配布

6年：お家時間で思い出作り！「卒業式用コサージュ」製作

## 4 成果

各家庭に「製作キット」や「図書カード」などを配布した。配布しただけで終わらないように、作成したものや、購入した本などを、写真等で記録し、各クラスで紹介するなど、「各家庭での取り組み」⇒「学校での広がり」⇒「他の家庭へ」のサイクルでつながるよう工夫した。

【実施後アンケートより】

○忙しい中でも、子どもと一緒に「形に残る」思い出づくり作業ができた。(1年)

○本嫌いであったが、カードをもらって喜んで一緒に選んだ。(2年)

○お家時間が多かったため、読書をする時間が増えたため、カードは良かった。(3年)

○人との接触が無くて、安心できた。(4年)

○もち米配布だけでなく、レシピ集があったため、一緒に料理を楽しんだ。(5年)

○作成動画を西小HPに掲載してあったため、簡単に子どもと楽しめた。(6年)

## 5 反省と今後

初の「非接触型ふれあいデー」の開催になり、各学年で代案を模索した。実施後のアンケートには、上記4の様な肯定的な意見が多かった。しかし、全て家庭で行ってもらう分、作成キットを配布した学年(特に1年)については、「大変だった」という意見もあった。ソーシャルディスタンスを保つなどの、新しい生活様式での、接触型の「ふれあいデー」をしてほしいという意見や、反対に、完全に終息するまでは、安心して参加出来ないなどの意見もあった。今後は、コロナの状況を見ながら、その時期にあった対策をとった活動の設定が必要になってくると感じる。貴重な委嘱金をありがとうございました。

# 親子ふれあいデー活動報告

令和2年度

単位PTA名（走潟小学校PTA）	児童生徒数（104）人
1. 予算執行状況（収入・支出）	
（収入）県P 20,000円	（支出）フェイス透明マスク 10,845円
単P 0円	発表会用延長コード 3,580円
その他 0円	親子ふれあいデー用花 5,575円
計 20,000円	計 20,000円
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容 親子ふれあいデーとして、親子、地域の方と作ったお米での餅つき、おこわ作り、種から育てた花（独りくらしの高齢者のお渡しする花）、学習発表会を計画した。今年度は、お花をお渡しすることと（公民館を通じて）、学習発表会を実施することができた。	
◎成果 まず、開催できるかどうか不安を抱えた中での開催であった。保護者の方は1家族1名にさせていただき、マスク、消毒、検温、記名をお願いした。地域の方は、お一人もお呼びできなかった。ただ、できる範囲で感染防止対策をすることで、開催できてよかった。	
◎反省 児童は、限られた中で保護者に一生懸命学習したことを表現することができた。保護者の方も、児童の発表の様子に感動されたようだった。ただ、1家族1名に限定、地域の方をご案内できなかったことは大変残念である。「今年に限ったこと」になってほしい。	
3. 今後の取り組みについて 例年、地域交流会をかねて、PTA活動としても最大イベントである学習発表会である。餅つき、おこわ作り、独居老人宅訪問等、中止したが、来年度はこれまで通りのスタイルで継続して行っていきたい。親子、地域に開かれた教育課程を実現するためにも、続けていきたい。	
4. 要望・その他 児童、保護者、地域（校区）に感染がなく発表会をすることができた。購入したフェイス透明マスクは、感染予防対策に大変役に立った。今後とも親と子のつながり、地域との連携を深く充実させるためにも本事業を継続していただきたい。	

# 親子ふれあいデー活動報告書

令和2年度

単位PTA名 ( 砥用小学校PTA)	児童生徒数 ( 114 ) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 20,000円 単P 13,800円 計 33,800円	(支出) 花苗代 26,800円 土、肥料代 7,000円 計 33,800円
2. 活動内容・成果・反省	
<p>◎活動内容</p> <p>本校PTAでは、生活委員会が主となり、毎年11月に親子ふれあいファミリープランターを実施している。この活動は、花の苗を親子でプランターに植え、家庭で花を育てながら親子の会話を増やし、玄関や庭にプランター等を置き地域の方々との交流の一助になればと10年ほど前から継続して取り組んでいる。本年度は、11月8日(日)に、花苗の3種類(シクラメン・パンジー・ノースポール)から1種類ずつ3苗を選んで、植えてもらった。</p>	
<p>◎成果</p> <p>好きな色や丈夫そうなものを親子で選ぶ姿はとてもほほえましかった。日曜の午前中であったが1時間30分の間に、PTA会員の約70%の方の来校があった。ファミリープランターの実施後、親子で水やりの当番を決めたり、花の手入れの仕方をネットで調べたりしたという話を聞いたりした。花を通しての親子の関わりが少しでも持てた家庭も多いようである。</p>	
<p>◎反省</p> <p>実施時間後に来られる方でも花植えができるようにしていたので、当日の夕方までに約75%の会員の方が花植えを完了された。日曜に来校できなかったところは、その後1週間ほどでほとんどの家庭が来校された。一方で苗を植えたプランターは各家庭に持ち帰るため、その後の活動の把握が難しい。</p>	
3. 今後の取り組みについて	
<p>ファミリープランターの実施を楽しみにされている方も多い一方、植えたプランターは各家庭に持ち帰るため、その後の活動やプランターの状態がどうなっているかほとんど把握できていない。次年度に向けて、活動内容を工夫していく必要がある。</p>	
4. 要望・その他	
<p>本校も年々PTA会員数が減少し、花苗や肥料等の購入費用の捻出が難しくなりつつある。親子の貴重なふれあいの機会と捉えており、今度も活動内容を工夫しながら、継続できるよう努力していきたい。複数年継続委嘱が可能であるならば、より継続的、効果的な活動が展開できると思われる。</p>	

# 親子ふれあいデー活動報告書

令和2年度

単位PTA名 ( 宇城市立小川中学校 )	児童生徒数 ( 387 ) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 20,000 円 単P その他	(支出) 20,000 円
2. 活動内容・成果・反省	
<p>◎活動内容</p> <p>(1) 第49回体育大会          ◇9月19日(土)実施。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、3年保護者のみ参観。3年本部役員は、大会役員として、駐車場・場内の整理、テント設営及び撤収等を行った。団ごとの応援合戦、創作ダンス発表で盛況だった。</p> <p>(2) 学習成果発表会          ◇10月18日(日)実施。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、学年毎の分散開催。1,2校時は1年、3,4校時は2年、5,6校時は3年と各学年それぞれの発表及び当該学年保護者参観。会場(体育館)内は、ディスタンス及び換気を徹底した。演劇、合唱等で保護者が感激・感動する様子が観られた。</p> <p>(3) PTA授業参観, 学年・学級懇談会          ◇3年: 11月20日(金)実施「親子進路学習会」: 親子で主に受験に関する学習会          ◇2年: 11月26日(木)実施「学年懇談会」: 修学旅行に関すること          ◇1年: 11月27日(金)実施「学年懇談会」: 集団宿泊教室に関すること</p>	
<p>◎成果</p> <p>保護者は学校行事をとおして学校での子供たちの姿がよくわかるとともに、保護者と学校の一体感を生み出すことができた。</p>	
<p>◎反省</p> <p>本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のためPTA活動の規模が縮小し、これまで実施していた活動(親子除草作業等)ができなかった。</p>	
3. 今後の取り組みについて	
PTA本部より保護者の学校行事への更なる積極的参加を呼びかけていく。	
4. 要望・その他	
予算は消耗品等の購入に活用させていただいた。予算額が上がればありがたい。	

# 親子ふれあいデー活動報告書

令和2年度

単位PTA名 ( 上天草市立姫戸小学校PTA )		児童生徒数 ( 82 ) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入)	県P 20,000円 単P 0円 その他 0円	(支出)	20,000円 ○ 親子読書用の図書費
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容 ノーマディアデーを活用した親子読書 ノーマディアデーに親子活動の取組の一つとして親子読書に取り組み、親子で体験や意見を共有し、充実した時間を過ごした。 今年度は、コロナ禍により他の活動がほとんどできなかつたため、親子読書用に図書を多数購入し、より充実した活動になるようにした。ピンチをチャンスに変える意識で、例年に比べ親子で過ごす時間が増えたことを有効活用できるように、読書に限らず、家族のアイデアを生かした活動ができていたように感じる。			
◎成果 休校期間や休日等の過ごし方が新しい生活様式になったことを活かす意識を持たせることで、それぞれの親子が工夫し、どんなことができるかを考え、読書に限らず、親子で工作や調理をしたり、一緒に体を動かしたり、いろいろな情報を家庭訪問や連絡帳を通して得ることができた。親子で同じ体験をし、その体験に関する意見を共有したことで、親子の会話が例年よりもさらに増え、家族で楽しい時間を過ごすことができた。			
◎反省 今の状況がいつまで続くか不透明であるが、新しい生活様式を活かし、親子の絆がさらに深まれば良いなと感じている。また、来年度こそ、地域や親の活動が活発な環境に甘えることなく、子供が地域に貢献する意識を持てるように、また、子供が地域の貴重な人材となれるように取り組んでいくことが、これからは必要であると思う。			
3. 今後の取り組みについて			
今年度考えていた取組を実施することができなかつたため、次年度も下記の3つに重点的に取り組んでいきたい。 ① 親子の繋がりに加えて、家族同士の繋がりにも目を向けた「読書リレー」等の取り組みも、さらに充実させるなど、読書に関する様々な取組を、今後も考えていきたい。 ② 子どもたちが地域に出向いて貢献する活動を考えているが、授業時数が限られており、より一層の工夫が必要だと感じている。ぜひ子どもたちに、地域の貴重な戦力であるという自覚を持たせ、自己有用感を高めることができたらと思う。 ③ 学年活動においては、子どもたちの役割を明確にし、子どもがお客さんではなく、保護者がお客さんになれるような意識改革も考え、更に充実した活動になるように取り組みたい。			
4. 要望・その他			
特にありません。			

# 親子ふれあいデー活動報告書

2年度

単位PTA名 ( 千丁小学校PTA )		児童生徒数 ( 430 ) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入)	県P 20・000円 単P  その他	(支出)	書籍代19,126円 ブックエンド 772円
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容 ふれあい読書研究会と合わせて学校の図書の先生と話し合い、新しい図書の購入を行った。その際にPTA図書コーナーを設けたが、それににあたっての環境設備を行うためのブックエンドなどの購入も行った。			
◎成果 購入した図書のジャンルも学校の図書の先生が、子ども達の姿や声から意見を取り入れ考えてくださったものなので多岐にわたるものとなった。子ども達も自分の好きなシリーズや興味を引く内容がある為喜んで見てくれ貸出数も伸びていった。			
◎反省 コロナ禍の影響でPTAも思うように動けずに活動が制限されてしまったが学校側と話し合い協力して、子ども達のために何が出来るかを考えてPTA図書の寄贈ができた。どのように借りられていったかや、書籍・ジャンルごとの学年・児童数などデータも取れたらまた、今後に生かしていけるのではと思った。			
3. 今後の取り組みについて			
コロナ禍がどのようになっていくかにもよるが、親子で楽しめて絆が深まっていくような活動をPTA・学校・地域で連携・協力して取り組んでいきたいと思う。			
4. 要望・その他			

# 親子ふれあいデー活動報告書

令和2年度

単位PTA名 ( 水俣市立久木野小学校PTA )		児童生徒数 ( 19 ) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入)	県P 20,000円 単P 5,000円 その他 0円	(支出)	「自然をいただこう」関係 11,842円 (領収書1~3) 計 「子どもたちに伝えたい料理」関係 5,750円 (領収書4,5) 20,892円 「チャリティーバザー」関係 3,300円 (領収書6)
※25,000 - 20892 = 4108円 はPTAに戻します。			
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容			
1 <b>自然をいただこう</b> (令和2年9月12日・土曜日) 竹細工を生業としている久木野在住の井上さんご夫婦を講師に、「肥後守」を使って竹串・竹箸・竹竿・竹筒を製作した。雨天により川釣りはできなかったが、地域から提供いただいたニジマス子どもたちは手づかみし、親子で捌いてワタ(内蔵)を出し、準備した炭火で串焼きにし、同じく炭火で炊いた竹筒ご飯とともにいただいた。(別添写真1)			
2 <b>子どもたちに伝えたい料理</b> (令和2年10月24日・土曜日) 2班に分かれて「里芋おはぎ」と「米アイス」を作った。これらは地域や保護者が子どもたちに伝えたい料理であった。(別添写真2)			
3 <b>リサイクルチャリティーバザー</b> (令和3年1月23日・土曜日) 各教室が保護者、児童のお店となり、収益は水害で大被害を受けた隣町の佐敷小学校への義援金等に充てる。エコバッグは保護者の発案で子どもたちが絵を描いた。(別添写真3)			
◎成果			
○ 肥後守(小刀)を使ったり、手づかみした魚を捌いて焼いたり、地域の料理を学んだり、と久木野校区の祖父母の時代まで続いていたことを親子で共に学ぶ良い機会となった。			
○ 次年度以降もPTA活動として、親子が地域のいろいろなこと(料理をはじめ体験活動)を学び伝承する機会の基盤ができた。			
○ コロナ禍で制限が多い中、今年度の県Pの助成事業を契機に、小規模校のPTA活動の新たな起爆剤とすることができた。			
◎反省			
○ コロナ禍で計画が何度も変更になったため、申請時の活動予定が変更を余儀なくされた。			
○ 小規模へき地校の魅力あるPTA活動の「発信」という点で更に努力が必要である。			
3. 今後の取り組みについて			
○ 小規模へき地校の魅力あるPTA活動の発信を行うことで、久木野地区への移住を含め、地域を挙げて「山村留学」の機運を高め、久木野小学校の児童の増加の取組を推進し、久木野小学校の存続及び地域振興の方策をPTAとして探っていきたい。			
○ 少ないP数で魅力あるPTA活動を続けるため、会費以外に自主財源を生み出す努力をPTA会員で模索したい。			
4. 要望・その他			
○ 今年度、小さい小学校のPTA活動に光を当てていただき、ありがとうございました。私たちPTAが中心となり「久木野小の未来を語る会」を発足することができました。			



# 親子ふれあいデー活動報告書

令和2年度

単位PTA名 ( 水俣第一小学校育友会 )	児童生徒数 ( 457 ) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 20,000円 単P その他	(支出) 20,000円
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容	
1 保護者や育友会OBの方、地域のボランティアの方による読み聞かせの本の購入	
1 ノーメディアとして、各家庭で親子との時間を持つことを目的とした『リレーうちどく』の本の購入	
◎成果	
1 読み聞かせ活動21年目に当たる今年度は、2学期からのスタート予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から活動自粛を余儀なくされた。しかしながら、ボランティアの方々にはおうち時間を利用してメダルを作成してもらい、児童は職業体験の草木染めで作成したエコバッグをプレゼントするなど、コロナ禍ならではの交流をすることができた。 また、次年度のためボランティアの方々の本の選定をしていただいた。	
1 『リレーうちどく』がスタートして4年目となる今年度は、本の選定を各担任、司書のみでなく、学校運営協議会の方々にもお願いしたおかげで、読書の幅を拡げることができた。『リレーうちどく』の感想の中でも、「唯一子どもと本を読む時間です。」など、本の内容だけでなく、『リレーうちどく』の目的でもある親子のコミュニケーションの一つになっていることが感じられる感想も多いので、読み聞かせ活動同様、長く続けていけると実感した。	
◎反省	
○ 毎週火曜日の朝の10分間の活動に拘らず、昼休みなどを利用して、少人数での活動ならできたのではないかと考えられる。長年続けてきた読み聞かせ活動を継続していくためにも、活動時間等を検討したい。	
3. 今後の取り組みについて	
○ 読み聞かせ、リレーうちどくと、本を通じての活動を続けている中で、新たに「読書郵便」に取り組みたいと考えている。家庭、学校、地域との交流をどうするかは検討中であるが、1冊の本を通して、3つが繋がるよう考慮したい。	
4. 要望・その他	
今回の親子ふれあいデー活動の助成金により、読書活動推進に取り組むことができました。今後とも、家庭、学校、地域が連携し活動できるよう、是非助成をお願いします。	

# 親子ふれあいデー活動報告書

令和2年度

単位PTA名 ( 芦北町立湯浦中学校 )

児童生徒数 ( 97 ) 人

## 1. 予算執行状況 (収入・支出)

(収入) 県P 20,000円  
単P  
その他

(支出) 講師謝金 5,000円  
竹細工材料費 2,534円  
画材 12,466円  
合計 20,000円

## 2. 活動内容・成果・反省

### ◎活動内容

今年度は文化祭を「ふれあい Culture Day」として内容や開催方法を変更して実施。そのうち、1, 3年生は親子体験活動を企画。

《1年生》親子体験活動「竹細工」…講師：大崎修一 様  
・親子で竹細工（風車）を制作。

《3年生》親子体験活動「絵手紙」…講師：星野富弘美術館 学芸員 宮本武蔵 様  
・講師による講話「星野富弘さんの生涯」  
・絵手紙制作「親から子へ、子から親へのメッセージ」

### ◎成果

- ・1年生は、初めて作るという生徒や保護者も多く苦労していたが、地域に伝わる伝統工芸を親子で体験できて和やかな中にもお互いに楽しく会話をしながら一つの作品作りに臨む時間は、大変有意義だった。
- ・3年生は星野富弘さんの生き様にふれ、一筆によせる様々な感情に思いをはせていた。それを受けて臨んだ絵手紙制作は、親から子へ、子から親へ、感謝の気持ちや願いがあふれており、始めこそ照れもあったが、後半ではお互いに制作に没頭していた。できあがった絵手紙をお互いに見合いながら、心温まる時間を過ごしていた。
- ・今年度はコロナ禍のため、様々な行事が中止されることが多かったため、このような親子で過ごす時間を共有できたことは思い出深く、非常によい時間だった。

### ◎反省

- ・新型コロナウイルスの影響もあり、すべての保護者に参加いただけなかったことは残念だった。
- ・親子で制作となると、100名弱の人数があり、密を避けて説明を聞く場所の選定が難しかった。（親子体験活動が2学年重なったため）
- ・絵手紙については、画材（絵の具等）を各自準備するよう伝えてあったが準備ができなご家庭もあり、当日慌てていた。
- ・親子で楽しいひとときを過ごすことはでき有意義な時間となったが、素材や画材が参加者のニーズに合っていたのかどうか反省点が残った。

## 3. 今後の取り組みについて

今年度は、新型コロナウイルスの影響もあり、例年行っていた体育館での文化祭開催ができないことから考え出された取組だったが、結果として思いがけずよい取組となった。特に、講師選定や内容の検討の面で地域資源を活用できたことも大変よかった。今後も、地域とのつながりを持ちながら地域とともにあるPTA活動をめざし、保護者が参加しやすい、地域に開かれたPTA活動を模索していきたい。

## 4. 要望・その他

特にありません。いつもご支援ありがとうございます。

# 親子ふれあいデー活動報告書

令和2年度

単位PTA名 ( あさぎり町立深田小学校 )		児童生徒数 ( 86 ) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入)	県P 20,000円 単P 275,904円 その他 101,800円 <u>397,704円</u>	(支出)	事業費 96,480円 会議費 0円 旅費 0円 その他 301,224円 <u>397,704円</u>
2. 活動内容・成果・反省			
<p>◎活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学年の活動 (1年:親子スポーツ大会 2年:親子スポーツ大会 3年:秘密基地探検 4年:乗馬体験 5年:ニュースポーツ大会 6年:コサージュ作り)</li> <li>稲の栽培 ・ 芋の栽培 ・ 親子ふれあい読書デー</li> <li>学習成果発表会、起業体験活動販売会 ・ 空き瓶回収活動</li> </ul> <p>※例年行われている茶摘み、読み聞かせ(月1回)、食と農のフォーラムは、新型コロナウイルス感染症予防のため、本年度は中止した。</p>			
<p>◎成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響があったが、子どもと触れ合う時間を確保するために知恵を出し合い、制約がある中でも楽しめる行事を企画することで、親子間での思い出を作ることができた。また、親子の絆を深めるだけでなく、子ども同士、保護者同士の絆も深めることができ、「チーム深田」としての意識が高まった。</li> <li>子どもたちの健全育成のためには、家庭と学校と地域社会が互いに協力し合うことが必要である。本校のPTA活動方針にもあるように、「教育の原点は、家庭にある。」ことを再認識することができた。</li> <li>活動時に親子の笑顔を多く見ることができた。</li> </ul>			
<p>◎反省</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響が大きく、年度当初予定されていたPTA行事を行うことができず変更を余儀なくされた。</li> </ul>			
3. 今後の取り組みについて			
<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も、親子の触れ合う時間を大切にし、様々な取組をとおして家庭と学校と地域がさらに連携を深め、子どもたちの健全育成につながるよう努めていきたい。</li> <li>社会に開かれた教育課程の実現に向けて、深田校区ならではの特色ある活動を展開したい。</li> </ul>			
4. 要望・その他			
<ul style="list-style-type: none"> <li>熊本県PTA連合会様より、親子ふれあいデーに対する活動費を補助していただき感謝申し上げます。また、本年度は新型コロナウイルスの影響で中間報告会が開催されませんでした。積極的な情報交換を行い他校PTAの創意工夫ある活動について学び、本校PTA活動の今後に生かしていきたいと思っております。</li> <li>他の地域PTAとの交流活動も行うことができればと考えています。</li> </ul>			

## 親子ふれあいデー活動

令和3年3月31日発行

熊本県PTA連合会

会	長	村崎	一英
家庭教育担当副会長		眞田	洋子
家庭教育委員長		橋本	昭